



消防団員募集中



消防団員とは？

消防団員は、非常勤の公務員として各自の職業に就きながら、災害時などに活動します。

どのような活動をしているの？

消火活動や救助活動、台風などの風水害時には河川の水位警戒や土のう積みなど幅広く活動します。平常時は、訓練や応急手当の普及指導、市民への防火指導や広報活動など防災力を高める重要な役割を果たしています。

いつ訓練しているの？

週末や平日の仕事終わりに集まって訓練しています。

仕事していても大丈夫？

消防団員は、各自の職業に就きながら、災害時に活動したり、平常時は訓練や広報活動を行っています。

女性も活躍できるの？

現在、全国で約2万人以上の女性消防団が活躍しています。当市でも17名の女性消防団員が救急講習や広報活動などで活躍しています。



入団について



資格：年齢18歳以上で市内に居住または勤務している方。(男女問わず)

報酬等：年間一定額の団員報酬のほか、災害出動などの手当が支給されます。また、5年以上在籍された方は、退団の際に退職報償金も支給されます。

公務災害補償制度：消防団活動中のケガ等に対して公務災害補償制度があります。

消防団福祉共済制度：公務を問わず、ケガ・疾病により一定期間入院した場合の入院見舞金や、死亡・重度障害の状態になった場合の一時救済金の支給などがあります。

表彰制度：団員としての功績に対して、様々な表彰制度があります。

機能別消防団：消防団員・消防職員のOBの方が入団し、災害活動のみ従事します。

入団を希望される方、詳しく知りたい方はこちらまで

常陸大宮市消防本部総務課 地域消防G ☎53-1152



ルールを守って楽しい花火



きれいで楽しい花火も、正しい遊び方をしないと火災や大やけどなどの事故が発生することがあります。特に、子供のみで花火することは絶対に避けて、大人と一緒に使用方法やマナーを守って安全に楽しみましょう。

花火による事故を防ぎましょう

- ・花火に書いてある遊び方をよく読んで必ず守りましょう。
- ・子供たちだけでなく、大人と一緒に遊びましょう。
- ・正しい位置に、正しい方法で点火しましょう。
- ・水の入ったバケツを用意し、残り火を完全に消しましょう。
- ・手持ちの筒もの花火は、手の位置に注意しましょう。
- ・風の強い日は、花火遊びはやめましょう。
- ・花火を人に向けてはいけません。
- ・燃えやすいもののある場所では使用してはいけません。
- ・途中で火が消えても、花火の筒の先に顔や手を出してはいけません。
- ・たくさんの花火に、一度に火をつけないようにしましょう。
- ・花火をほぐしたり、ポケットに入れたりしてはいけません。



子供の火遊びにも注意

子供の火遊びによる火災は、大人がいない時に発生することが多く、そのため発見が遅れて火災が大きくなる可能性があります。絶対に火遊びはやめましょう。

- ・マッチやライターを子供の手の届くところにはおかないようにしましょう。
- ・現在、販売されている使い捨てライターは、小さな子供が着火できないようにチャイルドレジスタンス機能が備わっています。小さな子供がいる家庭では、新しい使い捨てライターに買い換えて、古いライターは処分しましょう。
- ・子供だけで火を取り扱わせないようにしましょう。
- ・火災の恐ろしさ、火の取り扱い方法について、きちんと教えましょう。



■問い合わせ■ 消防本部 ☎54-0119